

第16回自治会館建設委員会議事録

日時 2019年5月10日(金)17時30分～19時30分

場所 つくし野コミュニティーセンター第1会議室

1 第15回委員会以降の経過について

4/19 第15回建設委員会

4/22 つくし野「地域ふれあい基金」運営委員会要請

新委員長-鈴木雅雄氏(3丁目自治会会長)、新副委員長-常松之忠氏、西野潔氏

4/30 つくし野「地域ふれあい基金」運営委員会委員長説明

2 建設委員会メンバーの確認について

・規約第2条について

「各会長と自治会から推薦された委員(各自治会につき最大5名)」

あくまで委員会規約は守る形で委員の定数(5名)は運用する。

・委員辞任の動きについて

新年度になって自治会の新会長が新委員に加わることにより、委員会規約にある各自治会5人までをオーバーする自治会があり、そのため辞任を申し出ている委員がある。また、個人的な事情で辞任を申し出ている委員もいる。

各自治会の意向を反映するために同数の委員を出すことが望ましい。委員が少ない自治会は議決権が少なくなってしまう。新しい委員が入る努力してもらいたい。5名をオーバーしているところは前会長が議決権のないオブザーバとしての参加とする。

・委員の立場について

委員は各自治会の意見を代表しているのか、あるいは個人の立場で参加しているのかについて、委員によって意見が分かれた。自治会長として参加している場合は自治会意見を代表している。

各委員は各自治会の意向を反映できるように努力するべきだ。

3 つくし野「地域ふれあい基金」運営委員会対策について

次回運営委員会 5月27日(月)19時半～ つくし野センター第1会議室

・建設委員会への委員の派遣について検討する方向

ふれあい委員会から建設委員会に鈴木委員長以外に数人参加してもらいたい。その場合はオブザーバとしての参加になる。

ふれあい委員会の中にも自治会館のことを独自の視点で考える部会が必要ではないか。その部会の人が建設委員会にも参加してもらう。

4 事業計画(案)作成について

7月までに「自治会館建設委員会の到達点と今後の取り組みについて」の「現在の検討状況骨子」を基盤にしながら事業計画(案)を詰めていきたい。

・会館設計構想

床面積は200㎡を超えない規模。つくし野センター第2会議室ぐらいの部屋必要。

基本的には1階建て。

・システム構想

近くの商店では鍵は預かってくれない。キーボックスの活用が必要。ネットでの予約方法を検討する必要がある。携帯での予約は役員にとって非常に大変。

・「建設の目的」を具体的に記載していかなければならない。

5 その他

5月18日(土)9時から農事センター跡地草刈り

6 次回会合日程 : 6月14日(金) 19時半～ つくし野センター第1会議室

以上